

健康安全講話要約

「大気汚染と呼吸器疾患」

虎の門病院 呼吸器センター内科 岸一馬先生

大気汚染物質としての微小粒子物質 (PM_{2.5})

PM_{2.5}とは

健康への影響

健常者での症状

特に注意がいる方

大気汚染と喘息

大気汚染と COPD (慢性閉塞性肺疾患)

大気汚染と肺がん

生活における留意事項

- ・ 帰宅後は、手洗い・うがいの徹底を励行する。
- ・ 交通量の多い道路を避ける。
- ・ 屋外での長時間の激しい運動を控える。
- ・ 外出する際は、マスク (N95 など) をする。
- ・ 室内では、空気清浄機を設置する。
- ・ 持病のコントロールをする。
- ・ 健康診断を受ける (肺機能検査、胸部 X 線、心電図など)。

まとめ

- ・ PM_{2.5}は、呼吸器系や循環器系に影響する。
- ・ 特に、心臓・肺疾患患者、高齢者、子供では注意が必要である。
- ・ 喘息や慢性閉塞性肺疾患の患者は、PM_{2.5}により症状が悪くなる可能性がある。
ある。
- ・ PM_{2.5}は肺がんの危険因子である。

「ペルーの大気汚染状況」

在ペルー日本大使館 池田雄一郎医務官

ペルー国内における大気汚染の地域別要因

リマ市内における大気汚染モニタリング結果（2000年～2015年の推移：二酸化硫黄、二酸化窒素、PM_{2.5}、PM₁₀）

まとめ

- ・ 1999年から、大気の監視モニターや環境改善のための法整備等の対策が開始された。
- ・ 環境衛生局の環境プログラム等でペルーの大気汚染は改善傾向にある。
- ・ 燃料の品質規制、中古車販売の規制、ディーゼル車への転換推進等の対策が行われた。
- ・ PM_{2.5}をはじめ基準値を大きく超える項目や地域が存在する。

「デング熱、チクングニア熱、ジカ熱とは？」

在ペルー日本大使館 池田雄一郎医務官

デング熱の概説

チクングニア熱の概説

ジカウイルス感染症の概説

ペルーにおける流行状況

今後の流行状況の見込み

リマ市内における注意の必要な地域